

日経225先物・日経225オプション よくわかる注文方法ガイド



目次

Copyright© 2001-2016 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

- 3ページ 取引時間
- 4ページ 注文方法の変更～執行数量条件
- 5ページ 注文方法の変更～指値注文
- 6ページ 注文方法の変更～成行注文
- 7ページ 注文方法の変更～対当指値注文
- 8ページ 注文方法の新設～引け前訂正指値【オリジナル】
- 9ページ 注文方法の変更～逆指値・W指値
- 10ページ 注文方法の変更～±指値・トレーリングストップ
- 11ページ 注文方法の変更～時間指定注文①
- 12ページ 注文方法の変更～時間指定注文②

The screenshot displays the kabu.com trading interface. At the top, there's a navigation bar with tabs for '株式' (Stocks), '先物OP' (Futures), '多相並売注文' (Multiple sell orders), '投資情報' (Investment info), '口座管理' (Account management), 'ウィンドウ' (Windows), and 'マイページ' (My page). Below this is a status bar showing market indices like Nikkei 225, TOPIX, and others.

The main area is divided into several sections:

- Quote List (銘柄登録リスト):** A table listing various stocks with columns for code, name, price, change, and volume. Examples include 5406 (Kofu), 1321 (225 Index), and 1570 (Nikkei 225 ETF).
- Order Entry Window:** A detailed window for placing orders, showing order type (e.g., Limit, Market), price, and quantity. It includes fields for '注文金額' (Order amount) and '約定指値' (Limit price).
- Price Chart (チャート):** A candlestick chart for the stock 8703 (KABU.COM), showing price movement from late 2013 to early 2014. The chart includes moving averages and volume bars.
- Market Data (市場情報):** A section showing exchange rates for USD/JPY, EUR/JPY, and GBP/JPY, along with gold prices.

取引時間

Copyright© 2001-2016 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

指数先物(日経VI指数先物除く)・指数オプションの取引時間: 日中8:45~15:15、夜間16:30~翌5:30で、取引終了後の板寄せ前5分間はマッチングを行わず、注文受付のみを行います。

日中立会	8:00 ~ 8:45	プレ・ オープニング	注文のみを受け付けてマッチングを行わない(プレ・オープニング)。 8:45=板寄せ方式によるマッチングを行う(取引が成立しなければ、ザラバに移行)。	取引日	営業日
	8:45 ~ 15:10	レギュラー セッション (ザラバ)	現行と同じザラバ方式による取引が原則(取引の一時中断又は停止を行った場合は、板寄せ方式により取引再開)。		
	15:10 ~ 15:15	プレ・ クロージング	注文のみを受け付けてマッチングを行わない(プレ・クロージング)。 15:15=板寄せ方式によるマッチングを行う(取引が成立しなくても現行どおり、ザラバ引け)。		
夜間(ナイト・セッション)	16:15 ~ 16:30	プレ・ オープニング	注文のみを受け付けてマッチングを行わない(プレ・オープニング)。 16:30=板寄せ方式によるマッチングを行う(取引が成立しなければ、ザラバに移行)。	翌取引日	
	16:30 ~ 翌5:25	レギュラー セッション (ザラバ)	現行と同じザラバ方式による取引が原則(取引の一時中断又は停止を行った場合は、板寄せ方式により取引再開)。		
	翌5:25 ~ 翌5:30	プレ・ クロージング	注文のみを受け付けてマッチングを行わない(プレ・クロージング)。 5:30=板寄せ方式によるマッチングを行う(取引が成立しなくても現行どおり、ザラバ引け)。		

取引時間の最初と最後に注文だけを受け付ける時間を設けて最初と最後の取引を行う、というのがプレ・オープニングとプレ・クロージングです。

当社では「不成」の代わりに「**引け前訂正指値**」でご注文いただくことができます。 → 詳細は10ページ

注文方法の変更～執行数量条件

Copyright© 2001-2016 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

「J-GATE」では、成行/指値/対当指値等の注文方法と、FAS/FAK/FOKという執行数量条件を組み合わせて指定します。

● 執行数量条件

まずはこちらの発注画面の抜粋をごらんください。指値や成行の後ろに「FAS」とか「FAK」を選択する形になっています。これが今回新たに加わる「**執行数量条件**」というものです。

以下の表が執行数量条件の概要です。発注後に約定しなかった注文が残った場合等に、残った数量の注文をどうするか？を指定するものです。FASが残す、FAKが残さない、FOKは全約定か全失効で中途半端はナシ。

執行数量条件		概要
FAS	通常条件 Fill And Store	一部約定後に未執行数量が残る場合には、 <u>当該残数量を有効とする条件</u> (現行と同じ)
FAK	残数量取消条件 Fill And Kill	一部約定後に未執行数量が残る場合には、 <u>当該残数量を失効させる条件</u>
FOK	全数量執行条件 Fill Or Kill	<u>全数量が直ちに約定しない場合には、当該全数量を失効させる条件</u>

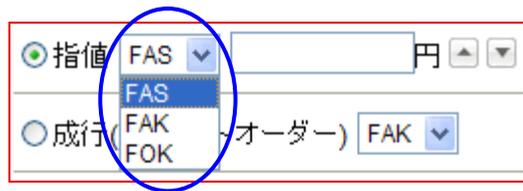
ちなみに、頭文字Fは同じですから、「明日(AS)残す」「秋(AK)失効」「全部OK(OK)」と語呂合わせで覚えるのも手です。ちなみに読み方は「FAS＝フィル・アンド・ストア」「FAK＝フィル・アンド・キル」「FOK＝フィル・オア・キル」。

注文方法の変更～指値注文

Copyright© 2001-2016 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

指値注文は「指値FAS」で従来同様の指値注文が可能です。3つすべての執行数量条件が選択可能ですのでFAS/FAK/FOKを理解するには最適です。特に条件を付ける必要がなければ「指値FAS」が良いので実はそんなに難しくありません。

●指値



「指値FAS」を選べば従来の指値注文と同じですので、特に必要がなければこれを選べば混乱せず従来通りの指値注文が行えます。

指値FAS

従来の指値と同等。未約定分は板に残ります。

指値FAK

未約定分は板に残らず失効する指値注文。

指値FOK

全数量が直ちに約定しない場合はキャンセルされる指値注文。

★この板の状態で各種発注を行った場合の基本例

売	価格	買
	10550	
6	10540	
3	10530	
4	10520	
	10510	5
	10500	7
	10490	2
	10480	

(例1) 指値FASで、10520円で10枚の買い注文
→ 10520円で4枚約定、10520円に6枚買い板残る。

(例2) 指値FAKで、10520円で10枚の買い注文
→ 10520円で4枚約定、残り6枚は板に残らず失効。

(例3) 指値FOKで、10520円で10枚の買い注文
→ 全数量約定できないので、すべて失効。

(例4) 指値FOKで、10540円で10枚の買い注文
→ 10540円以下で、10枚全約定。

こうやって見ていくと従来の指値よりもきめ細かい条件が設定できることがわかります。仮に自分は使わなくても他の投資家は使っているかもしれないわけですから理解しておいて損はないですよ。

注文方法の変更～成行注文

Copyright© 2001-2016 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

成行注文には「板に残すFAS」は無く、未約定数量は板に残らず失効する形となり、従来の成行注文とは異なります。また、**板寄せ時含め全数量の約定が保証されているわけではありません。**まずは勘違いしないようにしましょう。

● 成行

成行(マーケットオーダー)



対当指値

未約定分は板に残りません。目的に応じて類似する注文方法を選びましょう。

※「日通し」で成行注文を出すことはできません。成行注文をご希望の場合、「日中」または「夜間」をご選択ください。

成行FAK

未約定分は板に残らず失効する成行注文。

成行FOK

全数量が直ちに約定しない場合はキャンセルされる成行注文。



※ 成行注文はどちらを選んでも未約定が板に残りません。

★この板の状態で各種発注を行った場合の基本例

売	価格	買
	10550	
	10540	
3	10530	
4	10520	
	10510	5
	10500	7
	10490	2
	10480	

(例1) 成行FAKで、10枚の買い注文

→ 10530円までで7枚約定、残り3枚は板に残らず失効。

(例2) 成行FAKで、4枚の買い注文

→ 10520円で、4枚全約定。

(例3) 成行FOKで、10枚の買い注文

→ 全数量約定できないので、すべて失効。

(例4) 成行FOKで、10枚の売り注文

→ 10500円以上で、10枚全約定。

基本的には発注して即座に結果が出ますので、未約定分も約定させなければ残りを再度発注することになります。板の厚い銘柄なら余程大量の注文でない限り約定するのでそれほど心配ありません。

注文方法の変更～対当指値

Copyright© 2001-2016 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

「対当指値」とは価格の限度を指定せず、発注時点で最良の呼値(気配)に対当させる指値注文です。発注時点の板上で一番安く買える価格/一番高く売れる価格での指値となります。指値よりも機動的で成行に近い指値注文と言えます。

●対当指値

●対当指値

FAS
FAK
FOK

自動売買

対当指値は成行のように価格を指定しないけど板に合わせた指値になる便利な注文方法です。板の厚い銘柄なら意外と使い勝手良いでしょう。

対当指値FAS

価格を指定せず最良の売呼値または買呼値に対当する指値注文。未約定分は板に残ります。但し買い板に呼値が全く無い場合全数量取り消されます。

対当指値FAK

価格を指定せず最良の売呼値または買呼値に対当する指値注文。未約定分は板に残らず失効します。

対当指値FOK

価格を指定せず最良の売呼値または買呼値に対当する指値注文。全数量が直ちに約定しない場合はキャンセルされます。

★この板の状態で各種発注を行った場合の基本例

売	価格	買
	10550	
6	10540	
3	10530	
4	10520	
	10510	5
	10500	7
	10490	2
	10480	

(例1)対当指値FASで、10枚の買い注文
→ 10520円で4枚約定、10520円に6枚買い板残る。

(例2)対当指値FAKで、10枚の買い注文
→ 10520円で4枚約定、残り6枚は板に残らず失効。

(例3)対当指値FOKで、10枚の買い注文
→ 全数量約定できないので、すべて失効。

(例4)対当指値FOKで、3枚の買い注文
→ 10520円で、3枚全約定。

指値だと瞬時に値が動き売買し損なうリスクがあるので、その時に買える/売れる気配での指値となる対当指値なら「指値価格を指定せず、かといって成行のように値が離れすぎない」というわけです。

注文方法の新設～引け前訂正指値【オリジナル】

Copyright© 2001-2016 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

「不成(不出来引け成行)」注文の廃止の代替手段として、当社独自の注文方法をご用意しました。指値注文がザラバ中に約定しなかった場合、プレ・クロージングで自動的に指値を訂正してより約定しやすくするためにご利用いただけます。

●引け前訂正指値

◆買注文の場合

自動売買

- 逆指値
- W指値
- ±指値
- トレーリングストップ
- 時間指定注文
- 引け前訂正指値**

◎引け前訂正指値

指値(FAS) 10320 円

① 指値FASを出して

プレ・クロージングになったら

② 約定しなかったらプレ・クロージングで

◎ 指値(FAS) ザラバ最終価格 + 10 円

③ 指値を訂正する。
ザラバ最終価格に±〇〇円で指定するか、指値で指定するか選びます。

○ 指値(FAS) 10340 円

○ 成行(FAK)

＜例1＞引け前訂正指値で、指値FAS10320円1枚買い。プレ・クロージングになったらザラバ最終価格+10円に指値訂正。

＜例2＞引け前訂正指値で、指値FAS10320円1枚買い。プレ・クロージングになったら指値10340円に訂正。

ザラバ
10350円～10450円

10370円に訂正。

ザラバ最終価格
10360円

10340円に訂正。

10350円で約定。

クロージング価格
10350円

未約定。

指値だと瞬時に値が動き売買し損なうリスクがあるので、その時に買える/売れる気配での指値となる最良指値なら「指値価格を指定せず、かといって成行のように値が離れすぎない」というわけです。

注文方法の変更～逆指値・W指値

Copyright© 2001-2016 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

逆指値やW指値を使い、リスク管理を行うことができます。リレー注文やUターン注文と組み合わせることも可能です。

●逆指値

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ 時間指定注文

逆指値

値段が 10300 円 以下 になったら

成行(FAK) 指値(FAS) 10295 円

① 値段の条件を設定して

② 条件に合致したら発注する注文を、「成行FAK」か「指値FAS」を選び指定します。

条件に合致した時点で「成行FAK」もしくは「指値FAS」が取引所に発注されます。板状況や設定内容によっては約定しない場合もあるのは通常注文と同じです。

<例: 現在値10350円> 逆指値で、値段が10300円以下になったら、指値FAS10295円で売り注文を発注する注文。

ちなみに、指値/成行/最良指値で相互の訂正はできません。指値は指値の値段訂正はできますが、成行には訂正できません。注文の種類の訂正はできないので、変更したい場合は取り消して新たな発注が必要です。

●W指値

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ 時間指定注文

W指値

指値(FAS) 10350 円

値段が 10300 円 以下 になったら

指値(FAS) 10295 円

① 指値FASを入力します

② 値段の条件を設定して

③ 条件に合致したら訂正する値段を入力します。

<例: 現在値10320円> W指値で、指値FAS10350円の売り注文を発注し、値段が10300円以下になったら、指値FAS10295円の売り注文に訂正する注文。

条件合致後の訂正内容は、指値FASの値段のみなので、約定の確率を高めたい場合は、条件とした値段より余裕を持った値段に訂正するとよいでしょう。

注文方法の変更～±指値・トレーリングストップ

Copyright© 2001-2016 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

±指値やトレーリングストップなど自動売買注文により、リスク管理を行うことができます。トレーリングストップは高値安値に合わせて、逆指値注文をリアルタイムに自動修正する自動売買です。

● ±指値

自動売買

逆指値 W指値 **±指値** トレーリングストップ 時間指定注文 引け前訂正指値

±指値

値段が始値 + 50 円 以上 になったら

成行(FAK) 指値(FAS) 始値 + 55 円

① 始値±の条件を設定して

② 条件に合致したら発注する注文を、「成行FAK」か「指値FAS」を選び指定します。

＜例＞ ±指値で、値段が始値 + 50円以上になったら、始値 + 55円の指値FASで買い注文を発注する注文。

例えば、始値が10300円なら、10350円になった時点で、10355円の買い注文が発注されます。

● トレーリングストップ

自動売買

逆指値 W指値 ±指値 **トレーリングストップ** 時間指定注文 引け前訂正指値

トレーリングストップ(自動修正付き逆指値)

買い 値段が安値 + [] 円以上になったら → 成行(FAK)
(*)発注時は現在安値(10,100円)からの逆指値

売り 値段が高値 - 50 円以下になったら → 成行(FAK)
(*)発注時は現在高値(10,200円)からの逆指値

① トレーリングストップの条件を設定します。条件合致時に発注される注文は成行FAKのみ。

＜例＞ トレーリングストップで、値段が高値 - 50円以下になったら、成行FAKの売り注文を発注する注文。

この例では、発注時点では高値が10200円なので10150円以下になれば成行FAKの売りが発注されます。もし高値が10210円になれば10160円、高値が10230円になれば10180円、が成行FAKを発注する条件となります。

注文方法の変更～時間指定注文①

Copyright© 2001-2016 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

「〇時〇分になったら」「〇分後になったら」といった時間を指定して発注/訂正/取消できる自動売買で、「時間指定指値・成行」、「時間指定取消付き指値」、「時間指定訂正付き指値」、「時間指定W指値」の4種類があります。

●時間指定注文

時間指定注文は当社独自の、時間を条件とするまったく新しい概念の自動売買です。「寄付いて5分後に出そう」とか「あと10分出してダメなら変更しよう」とかよくある行動を事前に設定できる優れものです。時間指定指値・成行は、いつでも発注可能ですが、その他はザラバの最初と最後に発注できない時間もあります。

・時間指定指値・成行

「〇時〇分になったら発注」と指定された時間に発注を行う自動売買

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ **時間指定注文** 引け

指値・成行 取消付き指値 訂正付き指値 W指値

時間指定指値・成行

09 時 05 分になったら

成行(FAK) 指値(FAS) 円 ▲ ▼

＜例＞9時5分になったら、成行FAKで発注する注文。

① 発注する時間を設定して

② 指定した時間になったら発注する注文を、「成行FAK」か「指値FAS」を選び指定します。

・時間指定取消付き指値

「〇分後までに」と指定された時間までに約定しなければ注文を取り消す自動売買

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ **時間指定注文** 引け

指値・成行 取消付き指値 訂正付き指値 W指値

時間指定取消付き指値

指値(FAS) 10250 円 ▲ ▼

発注完了より 10 分後 までに約定しない場合、取消

＜例＞指値FAS10250円が、発注完了10分後までに約定しなければ取り消しする注文。

① 指値FASを入力します

② 取り消しする時間を指定します。

注文方法の変更～時間指定注文②

Copyright© 2001-2016 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

「〇時〇分になったら」「〇分後になったら」といった時間を指定して発注/訂正/取消できる自動売買で、「時間指定指値・成行」、「時間指定取消付き指値」、「時間指定訂正付き指値」、「時間指定W指値」の4種類があります。

●時間指定注文

・時間指定訂正付き指値

「〇分後までに」と指定された時間までに約定しなければ注文を訂正する自動売買

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ **時間指定注文** 引け

指値・成行 取消付き指値 訂正付き指値 W指値

時間指定訂正付き指値

指値(FAS) 10250 円 ▲ ▼

発注完了より 20 分後 までに約定しない場合 ←

指値(FAS) 10200 円 ▲ ▼

＜例＞ 指値FAS10250円が20分後までに約定しない場合、指値FAS10200円に訂正する売り注文。

- ① 指値FASを入力します
- ② 訂正するまでの時間を指定します
- ③ 条件に合致したら訂正する値段を入力します。

・時間指定W指値

W指値で指定された逆指値の価格条件が「〇分後までに」と指定された時間条件のどちらかの条件を満たした場合に注文を訂正する自動売買

自動売買

逆指値 W指値 土指値 トレーリングストップ **時間指定注文** 引け

指値・成行 取消付き指値 訂正付き指値 W指値

時間指定W指値

指値(FAS) 10250 円 ▲ ▼ ←

値段が 10300 円 以上 ▼ または ←

発注完了より 60 分後 までに約定しない場合 ←

指値(FAS) 10300 円 ▲ ▼ ←

＜例＞ 買い指値FAS10250円が60分後までに約定しないか、値段が10300円以上になった場合、指値FAS10300円に訂正する買い注文。

- ① 指値FASを入力します
- ② 値段の条件を設定して
- ③ 訂正するまでの時間を指定します
- ③ 条件に合致したら訂正する値段を入力します。

ご注意・ご案内

Copyright© 2001-2016 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

以下はご投資に関わる重要事項です。ご確認ください。

●証券投資は、価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。お取引の際は、約款・規定集、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)、お取扱商品の重要事項の説明等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、銘柄選択、投資時期、投資スタイル等、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任で行ってください。

●指数先物取引・指数オプション取引は、証拠金以上のお取引が可能であるため、証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。また、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。お取引に際しては、指数先物取引・指数オプション取引の契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

●指数先物取引・指数オプション取引においては、各取引所ごとSPANによる先物オプション取引全体の建玉から生じるリスクに応じて証拠金の額を計算するため、証拠金に対する取引額の倍率(レバレッジ)は一定ではなく明記することができません。

●掲載情報は2016年7月27日現在のものです。

詳細および最新情報は**当社ホームページ**(<http://kabu.com/>)にてご確認ください。

●ご意見・苦情について当社以外の窓口(特定非営利活動法人)

→ 証券・金融商品あっせん相談センター 電話:0120-64-5005

◆ ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちら

→ <http://kabu.com/company/pressrelease/info/escapeclause.html>

カブドットコム証券株式会社

金融商品取引業者登録:関東財務局長(金商)第61号

銀行代理業許可:関東財務局長(銀代)第8号

加入協会:日本証券業協会、金融先物取引業協会